

第37回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第37回「あいおの会」

平成25年9月8日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第37回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様4名とご家族の方々、ヘルパーさん、言語聴覚士など多数の方々が参加し、とても楽しい会となりました。

今回は、チーム戦でのレクレーションでした。文章を覚えて、その内容について質問され答えるゲームでは、みなさん、バッチリと話の内容を覚えていましたね。色や野菜の名前などを順番に答えていくゲームでは、答えを振り絞り、接戦となりました。最後は「海」、「夕焼け小焼け」を歌い、季節の変わり目を感じる事が出来ました。

参加人数が少ない中の友の会でしたが、とても盛り上がりました。次回お会いする時は、みなさん、コートや手袋を身にまとっているのでしょうかね。お体に気を付けてお過ごしください。

次回は平成25年12月1日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院で行います。

会場はリハビリ室となります。



みなさん、集中していて真剣な顔です！！



素敵な歌声でしたね。